

## オープン市場短信 (2006年7月)

2006.7.06

### 6月のCP市場動向

6月のCPの新規発行額は、一般事業法人中心に賞与資金手当ての新規発行や金利上昇懸念に伴うショートターム物のロール発行が増加したことなどから、期落ち(約3兆8千億円)を大きく上回り、約4兆5千億円の発行となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。

発行レートは、ショートターム物は債券レポGCレートの高止まり(0.10%以上)の影響もあってやや強含みで推移した。2M以上の発行レートも、大量発行によるFB新発債レートの上昇を受けて強含みで推移した。T i b o r レートも日々上昇しており、インターバンク市場金利が日銀の資金供給によって比較的落ち着いていたのとは対照的に、オープン市場金利は全般的に強含み状態となった。

銘柄別の発行レート

### 6月のCP取引発行レートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.16 ~ 0.250%	0.265 ~ 0.305%	0.298 ~ 0.329%
格付 a-1(オペ適格)	0.18 ~ 0.270%	0.278 ~ 0.320%	0.315 ~ 0.354%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.17 ~ 0.238%	0.268 ~ 0.318%	0.318 ~ 0.343%
格付 a-1(リース銘柄)	0.185 ~ 0.270%	0.29 ~ 0.380%	0.320 ~ 0.401%
格付 a-2	0.26 ~ 0.349%	0.28 ~ ケ 0.45%	0.365 ~ ケ 0.50%

### CP オペ

CP現先オペは、7日・20日と月中2回計6,005億円の期日が到来し、9日・22日スタートで2回のオペが実行された。買入れ予定額は各3,000億円で、いずれも応札はオファー額を大きく上回った。落札レートは、現先レートの上昇や7/14の日銀金融政策決定会合を越える期日となったことから、前回比強含みとなった。足切レートは、9日スタート分が0.10%、22日スタート分は0.161%。平均落札レートは、9日スタート分が0.109%、22日スタート分では0.180%という結果であった。

### 6月末のCPオペ残高

CP 現先オペ 5,907 億円

(短期社債・保証付短期外債 5,725 億円/資産担保短期債券 182 億円)

## ABCP

6月末のABCPの発行残高は、約4兆4,037億円と、前月比2,344億円減少した。

### 短期社債残高

短期社債の6月末発行残高は約18兆3,979億円と前月比3,454億円減少した。事業法人の増加分以上に、ABCPや金融機関等の残高落ち込みが大きかった(業種別内訳参照)。6月末時点の発行登録企業数は416社で、既発行企業は368社であった。

### 現先市場

月中現先レートは、債券レポGCレートの高止まりを受けて強含みで推移し、S/Nレートは0.08~0.12%のレンジでの出会いとなった、ターム物レートは0.08~0.15%と若干強含みでの出会いであった。

### 7月のCP市場動向

7月中のCP償還額は、約3兆8千億円と前年同月(約3兆円)を大きく上回っている(除く金融機関発行CP・ABCP)。

今月は、13・14日に日銀の金融政策決定会合が予定されており、市場関係者の多くが7月決定会合でのゼロ金利政策解除を想定している。誘導目標である無担保コールオーバーナイト物金利の上げ幅とロンバート金利の設定水準については、0.25%及び0.50%を予想する向きが多いが、その場合の足元現先レート及びCPターム物新発レートがどのくらいの水準になるのか注目される。

市場の見方として、前月までの発行レートはゼロ金利政策解除後の足元金利水準をまだ完全に織込んだ水準ではないといった声もあることから、発行レートは更に数ベース上昇する可能性もあるのではないかと。

### CPオペ

現先オペは、6日と21日に月中2回の期日が到来する。6日期日分のオペは4日に継続され、前日に実施された共通担保資金供給オペの落札レートを反映したかたちでほぼ市場の予想通り落札された(平均落札レート0.264%・足切レート0.246%)。21日期日分については、ゼロ金利解除後初のオペになると考えられるため、落札レート水準が注目されるが、6日期日分と同様直前の共通担保資金供給オペのレート水準が参考となるであろう。

### 現先市場

月中現先レートは、14日以前はT/N・S/Nともに0.08~0.12%、ターム物で0.08~0.15%近辺での出会いを予想する。18日以降は、債券レポGCレートが落ち着いた動きとなっ

ていれば、インターバンク足元金利に 0.05～0.10%程度上乘せされた水準で推移すると思われる。

(松倉)

**参考資料**

**業種別発行残高内訳**

	単位: 億円		
業 種	6月末残高	5月末残高	増減
事業法人	52,369	49,671	2,698
その他金融	61,888	64,505	2,617
金融機関	25,685	26,816	1,131
( 銀行等	12,668	12,785	117)
( 証券	13,017	14,031	1,014 )
ABCP	44,037	46,381	2,344
計	183,979	187,373	3,394

**短期社債月末残高 (H15年3月～H18年6月)**

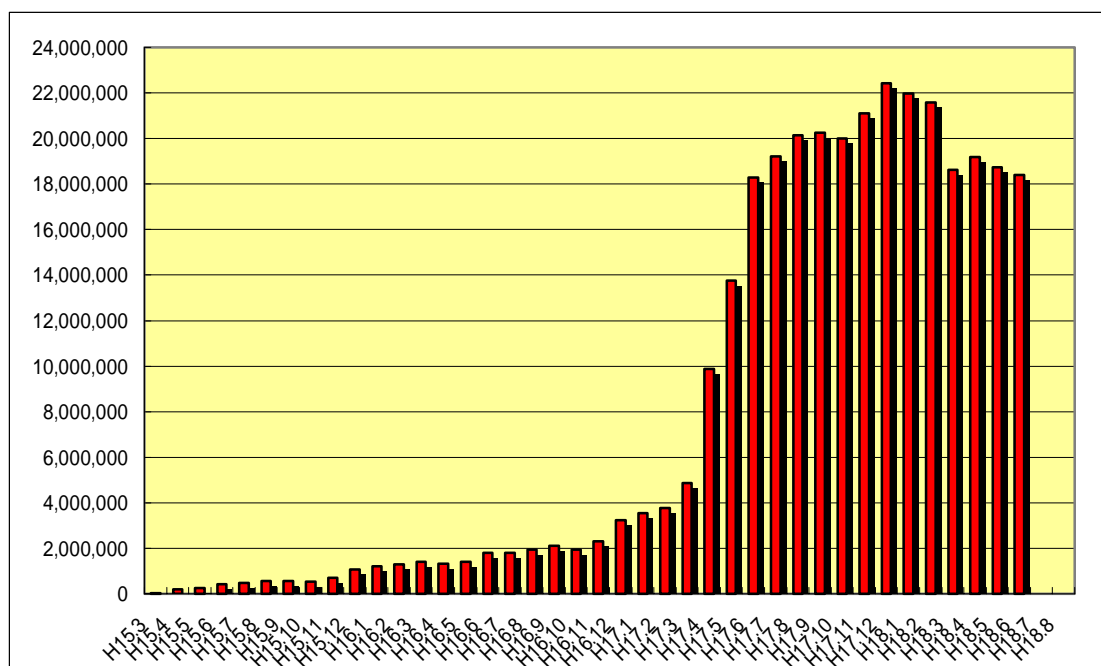
短期社債月末発行残高

6月末

発行残高: 18兆3,979.13億円

(単位: 百万円)

発行登録企業: 416社 (発行実績あり 368社)



6 月末発行残高ベスト 20

(単位:百万円)

	発行企業名	6月末残高
1	フォレスト・コーポレーション	7,760.16
2	オリックス	7,019.00
3	ダイヤモンドリース	4,856.00
4	日産自動車	4,500.00
5	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	4,203.00
6	ミレミアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	4,089.40
7	住商リース	3,615.00
8	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	3,592.00
9	エイベックス・ファンディング・コーポレーション	3,554.00
10	みずほ証券	3,504.00
11	みずほコーポレート銀行	3,396.00
12	野村證券	3,336.00
13	東京リース	3,227.00
14	新日本石油	3,060.00
15	UFJセントラルリース	3,030.00
16	三菱商事	2,960.00
17	興銀リース	2,892.00
18	住友信託銀行	2,868.00
19	みずほフィナンシャルグループ	2,720.00
20	エイチジーエム・アセット・ファイナンス	2,505.00

参考出所 (株)証券保管振替機構